

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370401073
事業所名	グループホーム「あじさい」

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2) 入居者がグラウンドゴルフ大会、盆踊り、もちつきなど地域の行事に参加して交流している。なじみの商店や喫茶店があり、買い物や散歩のときには気軽に声をかけられる関係を築いている。地域の人がボランティアでホームを訪れることもある。実現には至らなかったが小学生との交流の働きかけを行った。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3) 2か月に1回開催されている。会議では事故とその対策や、ホームで経験した看取りについての報告に多くの質問等があった。話し合いの結果はサービスの向上に繋げている。写真を用いてホームの取り組みや、入居者の様子を報告しており、議事録は職員に回覧するとともに出席者や全家族に配布している。メンバーから認知症サポーターの受け入れの提案があり今後の取り組みが期待される。	評価
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4) 市や区の担当部署に定期的に報告のほか、何かあれば担当者に相談、報告を行い問題解決に取り組んでいる。職員が市の認知症リーダー研修、実践者講習等の講師を務めている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6) 家族が意見などを言いやすい関係づくりに努めている。年数回のイベントは、家族が参加しやすいよう土日に設定し、便りや電話等で参加を呼びかけている。また、家族アンケートで出された意見については、改善に向け素早く対応した。運営推進会議への出席を呼びかけ、あじさい便りと会議の議事録を送っている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。